

発行人 / 学園町自治会会長・荻野晶子
企画編集 / 学園町自治会広報委員会
編集長 / 浜名 純
投稿・連絡先 / 学園町1丁目14番地31号
電話 / 090-6005-7887

学園町 かわら版

購読無料・各戸配布 / 隔月刊行

111号

毎月の第1・第3・第5月曜日は
学園町自治会の資源物回収の日。
自治会の収益となりますので、
ぜひご協力ください。

年頭の辞 今年は学園町誕生100年 『魅力ある町』を育み次世代に継承しよう

自治会長 荻野晶子

2025年 皆様には、穏やかに新年をお迎えのことと思います。

荻野家の年末年始はここ何十年も変わらない光景があります。フルタイムで仕事をしている為、通常はリタイアした夫が家事を引き受けていますが、年末は夫から家事をバトンタッチし、主婦に戻り家事に勤しみます。お正月のしつらえに心を配り、例年通りお節料理を作りました。31日は夫の父の命日なので、お墓参りに行き、今年も無事に過ごせたことを振り返りつつ、友人宅で除夜の鐘を聞きながらシャンパンと共に新年を迎えました。

元旦は、近くに住む母と妹を迎え、

家族そろって、お節料理とお雑煮をいただきました。今年も、例年と変わらなく2025年を迎えられたことをありがたく思っています。

2025年も、激動の1年となりそうです。

能登半島の地震から1年、ご存知の通り復旧はまだまだ道半ば。アメリカの西海岸では山火事の多発により(35年前に住んでいた場所の近く)多くの住宅地が焼失しました。災害によってある日突然、日常生活が変わってしまつた方々には、一日も早く生活が取り戻せることを願うばかりです。

日本時間の1月21日、アメリカは新しい大統領が就任しました。これまでの公約やルールが就任初日の大統領令によって大きく変わろうとしています。米大統領は世界各地で起こっている紛争にも関与していくとコメントしています。今後、日本とアメリカの関係はどう変わるのでしょうか。

国内は、大手テレビ局が芸能人の不適切な行動への対応のまずさから、経営そのものを崩しかねない事態に追い込まれ、テレビ界全体に激震が走っています。

これまでの常識、基準や盤石とかわれていた姿が、いままで通りとは行かないことを経験する1年になるかもしれません。

2025年には学園町誕生100周年を迎えます。

100年の間に町は色々なことにチャレンジをして来ています。

も作りやすい工作なので評判も良いようです。

現在、港区立みなと科学館にて開催されている2024 冬の企画展「水でつながる生命(いのち)のものがたり」

2025年2月24日(月・振休)までに魚のペーパークラフト作品で展示協力をしています。

常設展示や講座も面白いしプラネタリウムもあります。施設内への入場は無料です。(プラネタリウムは有料)お時間ありましたらぜひ訪れてみてください。

ご存知の通り、学園町も世代交代等により、残念な形にまちなみは変わって来ています。学園町には、屋根より高い樹木が多く自生しています。100年の間に成長した木が多く残るまちなみは、東京都心から比較的近い住宅地としては、貴重な光景ではないでしょうか。

一昨年のアンケートで土地の売却、開発時に法的拘束が必要と回答された方が多くいました。2008年に制定した「学園町憲章」は、残念ながら法的拘束が無く、町が守れない状況が生まれてきています。

今年も多くのチャレンジをしていく1年になるかと思えます。自治会は、13名の運営委員の方々によって運営され、そして半年ごとに交代する組長さん方がいらつしやいます。

多くの方が町を支え、自分の町を良くしたいという想いで活動して下さっています。こんなに多くの素敵な方々の住む町が、次の世代にもつながるように、そして、「学園町の営み」がより学園町らしくなり、学園町が持つ「才能」が存分に生かせるように取り組んでいきたいと願っています。

長らく「学園町」にお住まいの方にも、そして新たに住まわれる方々にも、100年間で「魅力ある町」に成長した学園町にこれまで同様、それ以上に共感していただけるよう、今年も1年走り切りたいと願っています。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

今年もかわら版を よろしくをお願いします

あけましておめでとうございます



2025 令和7年 巳年

Kei Craft

学園町在住のペーパークラフト作家
ごとうけいさんによる恒例の紙細工
です。以下は、ごとうけいさんのコメントです。

◇

◇

昨年出かけた伊豆の500で、ビルマニシキヘビとの触れ合い体験をしたことからインスピレーションを受けて作りました。リアルでありつつユーモラスでカッコよく縁起のよいヘビに見えますか？

動物や恐竜のクラフトと並べたときにも探検隊風の衣装が馴染むし、とて

特殊詐欺をノックアウト ボンボンロールがライブで呼びかけ ひばりが丘のコスモスサロン

特殊詐欺の被害を撲滅しようと活動が続いている女性4人のロックバンド「ボンボンロール」のライブが1月10日、西東京市ひばりが丘2丁目のコスモスサロン（清田元一さん宅）で開かれました。西東京市では、「街中いこいーなサロン」を展開中です。これは誰でも気軽にふらっと参加できる集いの場（サロン）を設け、そこで定期的に介護予防体操や茶話会、レクリエーション活動を行うというものです。サロンは、住民の方々

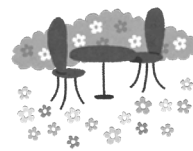


が自主的に運営し、個人宅や自治会集会所など市内に40数か所あります。コスモスサロンもそんなサロンの一つです。さて、ボンボンロールはボーカルを双子の姉妹が担当、彼女たちの妹がギター、いとこがパーカッションを担当。2017年から全国的にも振り込め詐欺被害の多い田無警察署管内で『勝手に』特殊詐欺撲滅キャンペーンのライブを続けてきました」と言いますが、参加者の口コミなどで評判になり、今や福祉団体や田無警察署も後押しや協力をしてきています。

アフロヘアスタイルのド派手なでたちで「だまされなないで」「甘すぎシュガー」「クロサギ音頭」「還付金、それは幻」というオリジナル曲をノリのよいリズムで歌うと、参加したお年寄りも演奏に合わせて手拍子を取っていました。その合間に軽妙なトークで、オレオレ詐欺や還付金詐欺などにあわなないための方法を伝授、皆さん、納得の様子でした。



花だより④
春を前に花も高値に
でも、木の芽が
ふっくらとしてきました



立川まり

日の出が少しずつ早くなり、まだまだ寒いですが少しずつ春が近づいてきます。先日、昨年植えたアネモネが一輪、花を咲かせていました。学園町の庭々でもそろそろクリスマスローズや水仙、沈丁花など咲いてくるのが楽しみです。

花市場の近況

年末から初春の代表的な花、ストックやスイトピーなどがかなり品薄でした。チューリップやラナンキュラスは少しずつ出てきています。1月にはシンビジュウムがお手頃価格で出ていました。3月の代表的な花、ミモザが少しずつ出始めました。

全体を通して言えることはとても高値だということです。通年の1.5倍から高いもので2倍以上のものもあります。花のネット販売の場合、数か月先の花の画像で販売をしなくてはならないため前年に写真を撮ったりますが、年々同じ季節に同じ花が出ていかなかったり価格が合わなくなったり、調整が大変になってきました。

3月は卒業式などで小さな花束が必要な方も多いと思いますが、今年は少し予算がかかるかもしれません。

私は小さいころから木を見るのが好きで、冬の枝だけになった木も大好きです。この冬は暖かい始まりだったことが関係しているのか、木々の芽が1月からふっくらしているような気がします。気のせいでしょうか・・・

(フローラルライフ) 立川まり

TEL/FAX 042-423-8646
E-mail support@flf.jp

東久留米駅前 消防団の出初式で

東久留米市消防団の出初式が、1月7日午前、東久留米駅西口ロータリーで開催されました。市には消防団が10分団あり、消防ポンプ車によるパレード入場開幕。消防団による一斉放水や東久留米消防少年団による放水演技が行われました。

また、午後2時から、学園町を管轄する第4分団の「初出式」が、南沢氷川神社社務所で開かれました。団員や学園町をはじめとする各自治会、富田東久留米市長、地元選出の国会議員や都会議員、市会議員ら20人が出席。消防団と地元住民、自治会が協力し合って防火や防災、防犯活動を推進していくことを確認しました。



今年初の「朝市」

2025年最初の「野菜の朝市」が1月12日（日）、自由学園しのもめ茶寮前庭で開かれました。

今年の『初荷』は、ほうれん草、白菜、人参、里芋、ねぎ、ブロッコリーなどで、「冬の厳しい寒さをくぐり抜けた野菜の旨みが出ていますよ」と出品者。午前10時の店開きとともに近隣の住民たちが訪れて賑わいました。



パリのパラリンピックに出場した ブラインドサッカー日本代表

泉健也さん(自由学園教諭)

昨年、パリで開催された第17回パラリンピックのブラインドサッカーに自由学園の泉健也教諭(32)が出場しました。パラリンピックのブラインドサッカーは、4人の視覚障害をもったフィールドプレーヤーと目の見える晴眼者のゴールキーパー1人計5人でチームを結成。泉さんはキーパーとして出場しました。残念ながら日本チームは最下位の8位でしたが、泉さんに初めて出たパラリンピックの感想や、ブラインドサッカーの魅力、今後の抱負についてお聞きしました。

ブラインドサッカーは、アイマスクを装着したフィールドプレーヤーが、転がると音の鳴るボールをドリブルやパスでゴールまで運びます。ボールが両サイドを割らないように、サイドラインに壁を設置し、選手たちは敵陣のゴール裏で味方にゴールの位置と距離、角度などを伝える「ガイド」や「ゴールキーパー」、サイドフェンスを越えたベンチに立つ「監督」の声を聞きながらプレーします。

アイマスクをした選手によ



る、まるで見えているかのようなスーパープレーが見られますね。力強いシュートや連携プレーも驚きです。どうしてあんなプレーができるのでしょうか。

手は、コースをしつかり狙うために、ボールの威力が弱まったりするのです。見えない選手はそうではなくどこからでも強いシュートを打つてきたり、予想外の動きをするのでキーパーはとても難しいです。僕も最初デビューした時は、2試合とも点を入れられて負けました。0対1でデビュー戦は負けました。このまま負けては終われないと思って続けていたら日本代表になっていったんです。

——パリの大会はどうでしたか。感想をお聞かせください。

泉 8か国8チームが出場しました。日本は世界ランキング3位なのですが、残念ながら1勝もできず最下位でした。東京オリ

ンピックは無観客でしたが、今回は1万3000人という大観衆の中での試合でした。これは、日本のプロサッカーリーグのJ2の平均動員観客数を大きく上回るものです。こうした大観衆の中で闘うプレッシャーもありましたし、世界ランキング3位で、メダルを取るといふふうに各方面に宣言をしていたので、そのプレッシャーもあつたと思います。音が頼りのスポーツなので、大観衆の経験のない選手たちは集中しづらい環境でした。悔しいのひとことでは片付けられないくらい悔しい思いをしました。それでも、自分が試合に出ないでベンチにいる時でも興奮するくらいの盛り上がりを感じる

ことができました。

——サッカーとの関わりやこれまでの経歴を教えてください。

泉 小学校の時、地域のサッカーチームでサッカーをはじめ、中学、高校はサッカー部。大学は日本大学の文学部体育学科でやはりサッカーをやっていました。卒業後は、母校などで非常勤講師を務めた後、都内の私立中高一貫校に専任採用されました。東京パラリンピックの代表に落選し、2024年のパリに向けて頑張っていたいと思っていたところ、自由学園の佐藤史伸先生とお話をする機会があり、僕の夢を応援したいと言ってくださり、2023年からこちらで働かせていただくようになりました。保健体育を教えています。

——ブラインドサッカーを始めるようになったきっかけと、その後の戦績などをお聞かせください。

泉 大学4年生の時、卒業論文でブラインドサッカーを取り上げたことで、その存在を知りました。そして、卒業後、新しく発足したブラインドサッカーのチーム「Free Bird mejirodai」(フリーバードめじろ台)の監督から誘いを受け加入しました。2015年の秋です。そのチームにキーパーがいな

の後、2023年にフランスでのワールドグランプリ、昨年のタイでのブラインドサッカートーナメントなどに選出されました。

——選手としてブラインドサッカーの面白さや魅力はどんなところですか。

泉 目の見えない選手とプレーが共有できた時はすごくうれしいです。僕は見えているので、相手のゴールに迫るまで、こういうふうにボールを動かしていくといいな、と知っている、選手たちがその私の思いを理解してボールを動かしてくれた時などです。お互いの感覚がシンクロしているプレーができた時は最高です。やればやるほどブラインドサッカーの奥深さを改めて感じます。

——最後に抱負をお聞かせください。

泉 4年後のロサンゼルス大会にも代表選手として出られるよう頑張りたいですね。まずは、出場権獲得。そのために貢献できるようにになりたいです。そして、ブラインドサッカーをもっと広めたいと思います。自由学園の初等部でも体験会を実施しているのはじめ、いろいろな中学校や小学校を回って普及活動をしています。地上波で放映してくれるといいですね。多くの人に、いろいろなサッカーがあることを知ってもらいたいと思っています。

——ありがとうございました。

